# 決算に対する討論

平成20年度決算は、起立多数をもって認定されましたが、5名の議員が各会派を代表して、同決算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

## 新政海クラブ　賛成

平成20年度一般会計決算および5特別会計決算について賛成します。▽各分野における事業展開は、バランスのとれたものであり、なおかつ、有効であったと高く評価します。ただし、今後は、景気後退による税収減等により、財政の硬直化が懸念されるため、長期的な展望に立った地道な努力をお願いします。▽限りある財源で目の前の課題を解決していくためには、総合的なバランス感覚の財源配分が欠かせません。目標に達しなかった事業や、軌道修正をせざるを得なかった事業については、原因を十分分析し、今後の事業執行につなげていくよう要望します。▽えびなの森創造事業をはじめとする環境施策は、意識啓発という観点からも今後もさらに充実していただきたいと考えます。▽21年度以降の事業の前倒しや、入札制度の見直しによる市内企業の受注機会の拡大策、定額給付金支給事業の着手は、迅速で的確な対応だったと高く評価します。▽地方分権の進展、少子高齢化、経済状況の変化、市民ニーズの多様化などに対応するため、健全財政維持に努力願います。▽創造的な活動を通じて、最小のコストで最大の満足や価値を、市民に提供するという観点から、まちづくりを推進し、市民福祉の一層の向上を目指していただくよう要望します。

**平成20年度　歳入歳出決算の状況**　（金額の単位は円）

| 区分 | 歳入決算額 | 対前年度伸率 | 歳出決算額 | 対前年度伸率 | 歳入歳出差引額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | 36,555,684,465 | 1.1% | 34,397,464,300 | 0.7% | 2,158,220,165 |
| 特別会計 | 20,191,965,988 | ▲11.6% | 19,229,062,192 | ▲14.1% | 962,903,796 |
| 国民健康保険事業 | 11,108,456,445 | 7.6% | 10,608,786,845 | 3.5% | 499,669,600 |
| 下水道事業 | 3,489,024,749 | ▲5.2% | 3,279,533,042 | ▲4.5% | 209,491,707 |
| 老人保健医療事業 | 601,435,061 | ▲87.8% | 553,151,244 | ▲88.8% | 48,283,817 |
| 介護保険事業 | 4,206,283,348 | 7.8% | 4,021,518,653 | 7.0% | 184,764,695 |
| 後期高齢者医療事業 | 786,766,385 | - | 766,072,408 | - | 20,693,977 |
| 合計 | 56,747,650,453 | ▲3.8% | 53,626,526,492 | ▲5.2% | 3,121,123,961 |

## 市政クラブ　賛成

平成20年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算を除いて、平成20年度一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。▽海老名駅自由通路整備事業、さがみ縦貫道路海老名インターチェンジの開設に伴う都市基盤の整備、小田急線高架化事業の推進、都市計画道路下今泉・門沢橋線および河原口・勝瀬線の整備事業、自治会集会所施設の整備に対する補助制度の充実、コミセンの利便性を高める改修事業、環境に配慮した施設設置に対する助成制度の新設、県内トップレベルの0～12歳児までの所得制限なしでの医療費の完全無料化事業、民間保育所新設に対する財政的支援、公立保育園の定員増のための工事設計など各種施策の実施を高く評価します。▽厚木駅周辺整備について、19年度に行った厚木駅周辺まちづくり検討調査報告書に基づき積極的に進めるよう要望します。▽上郷・河原口線事業について、早期着手に向けて検討するようお願いします。▽市民第一主義、意志決定の迅速化、より多くの市民の幸福実現、財産の健全性の確保、資産の効率的活用といった5つの経営感覚に基づき、「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」の将来都市像の実現に向け、積極的に取り組まれるようお願いします。

### 請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、**11月24日(火)の午後5時15分まで**に提出されますと、12月定例会で審査または議員配布されます。(それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。)詳しくは議会事務局まで、お問い合わせください。

## 共産党　反対

平成20年度老人保健医療事業特別会計決算には賛成しますが、平成20年度一般会計決算、4特別会計決算には反対します。▽えびなの森創造事業について、コンサルティング会社に1163万円もの委託料を支払ったことは、市税の使い過ぎであり賛同できません。環境意識の向上なら、コンサル会社に委託しなくても関係諸団体に協力を得ればできるはずです。▽国民健康保険事業について、過去最高の基金があるならば、保険税額の1世帯あたり1万円の引き下げを行うべきです。▽メタボリック予防健康審査事業について、住民ニーズから乖離した制度変更になっています。メタボ検診とがん検診を統一し、メタボ限定の検診項目を見直すよう国に求めるべきです。▽企業立地促進事業について、リコー等の大企業は企業立地奨励金支給の対象外とし、その分を経済危機に苦しむ中小商工業者への支援に振り向けるべきです。▽コミバス大谷・南部ルートについて、利用率が低く市の負担が大きいため検討市民会議で指摘されているとおり乗り合いタクシー等の導入を検討すべきです。▽下水道使用料について、早急に料金体系を見直し、1万立方メートル以上を排水している大口事業所に対しても、累進性を持たせ、負担の公平性の確保を図るべきです。

### 詳しい内容は会議録で

9月定例会の会議録を作成中です。12月には市役所1階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。市のホームページでも見ることができます。

## 海政会　賛成

平成20年度一般会計決算および5特別会計決算について賛成します。▽収納率について、市税は歳入決算全体の約6割を占める大きな財源です。特に市民税の収納率約94%は景気悪化を考慮すると減少が少なかったと評価しますが、こうした時こそ収納率の向上に力を入れ、100%に近づくよう努力をお願いします。▽環境問題について、温暖化問題は、国と地方自治体が一丸となって取り組まなければならない課題です。えびなの森創造事業で、12万5000本の植樹を行うことは素晴らしいことですが、市民1人1本という掛け声だけで終わることなく、効果ある取り組みを要望します。▽ごみの減量化について、高座清掃施設組合で30%の削減を図ることが示されていますが、処理基本計画に基づき、目標年次に向け達成されるよう要望します。▽自治会活動に対する取り組みについて、用地や財源等の不足により、活動拠点となる会館がない自治会が相当数あります。市内全体をみて、不足している所、要望している所には、積極的な支援をお願いします。▽温故館の保存について、調査検討委員会の提言書により、素早く移築保存を決定したことを評価します。今後の移築工事にあたって、多くの市民に利用される文化財施設となるよう要望します。

## 公明党　賛成

平成20年度一般会計決算および5特別会計決算について賛成します。▽義務的経費が増額となる一方、投資的経費が減額となっており、財政の硬直化が危惧されます。しかし、少子高齢化への対応として、小児医療費の拡充、妊産婦検診の助成回数の増、民間保育施設への支援などは今後も続けていただくようお願いします。▽海老名駅自由通路整備事業について、乗り換え部分が完成し利便性が向上したことを評価します。▽事業によってはすぐに効果が表れなくても、将来税収を生み出す事業には積極的な対応をお願いします。▽えびなの森創造事業について、民間ノウハウを活用し、「指針の策定」、「市民植樹祭等の企画運営」、「ホームページ作成」等少ない職員数で短期間に成果を上げたことを評価します。▽景気の急激な後退に対処すべく、信用保証料補助や融資利子補給に積極的に取り組まれたことを評価します。▽安全安心なまちづくり施策として、照度の高い防犯灯への切り替え、街路の整備など、住環境向上に大きな成果がありました。▽学校教育について、トイレ改修事業、少人数指導充実事業など、ハード・ソフト両面にわたる施策を評価します。▽緊急経済対策についてプレミアム付き商品券等を素早く対応したことを評価します。

## 委員会活動レポート

他の自治体で取り組まれている先進事例を学ぶため、各常任委員会で行政視察を行いました。視察テーマは次のとおりです。

**○総務常任委員会**
（5月12日～14日）
・愛媛県松山市：坂の上の雲まちづくりチームの活動とフィールドミュージアムについて
・愛媛県今治市：地域活動応援プログラムについて
・広島県広島市：平和事業に関する取り組みについて
・広島県福山市：うつみ市民交流センターについて

▲授業の様子を視察（磐田市）

**○文教社会常任委員会**
（5月12日～14日）
・京都府向日市：小・中学校通学区域の弾力化について
・大阪府高槻市：介護保険料の値下げについて、キッズミュージアムについて
・静岡県磐田市：35人学級制度（小・中学校ともに全学年）について

▲ポット苗移植法について質問する（鳥取市）

**○経済建設常任委員会**
（7月6日～8日）
・鳥取県鳥取市：ポット苗移植法（鳥取方式）について
・島根県益田市：廃食用油処理について
・島根県松江市：中心市街地活性化対策について